

若者の発想を取り入れた新しいまちづくり

鳥取市立美保南地区公民館



夏休みサマースクール

公民館の沿革・年表

- ・昭和62年 美保地区から分離、美保南地区公民館開設
- ・平成 4年 美保南地区公民館竣工
- ・平成17年 子育てサロン（乳幼児の親子対象）開設
- ・平成20年 美保南まちづくり協議会設立
- ・平成29年 市立美保南小学校学校運営協議会に参画
- ・令和 2年 公民館における若者まちづくり事業の開始
（夏休みサマースクールの開催）

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

●夏休みサマースクール(体験学習)

公民館とまちづくり協議会による協働事業で、小学校で実施。若者たち(大学生)が企画・運営し、公民館・地域・学校がサポートしている。5日間の日程で、1時間勉強の後2時間程度遊びやゲームなどを楽しむもので、54名が参加した。写真はゲーム（フルーツバスケット）を楽しんでいる様子。

●地域イベント『子どもお菓子教室』（公民館事業）

ホワイトデーに向け、大学生が考案したレシピでお菓子づくり。9名の子どもたちが参加。講師の大学生とも打ち解けて楽しそうにお菓子作りをしている様子。



子どもお菓子教室

1. 都道府県名	鳥取県	3. 公民館対象人口	7842人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN（Wi-Fi等）
2. 市区町村名	鳥取市	4. 建物設置年月日	平成4年3月	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	100台
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者（〇〇地区まちづくり協議会） <input checked="" type="checkbox"/> その他（市長部局補助執行による）				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 4318人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 8881人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 461人 合計 13,660人 <input type="checkbox"/> その他 0人（ ）				
9. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 （職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人） 合計 4人				
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他（ ）				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他（多世代間交流、特色ある公民館活動、食事サービス）				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述（ロビーに冷温水機を備えることで、コーヒーやお茶を飲みながら談話できる憩いの場として提供している。）				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 （のぞみ保育園、鳥取市立美保南小学校、鳥取市立南中学校、公立鳥取環境大学、美保南まちづくり協議会、美保南地区社会福祉協議会、美保南民生・児童委員会、株式会社メモワールイナバ ほか）				

鳥取市美保南地区公民館

OPEN 9:00～22:00

H P <http://chiiki.city.tottori.jp/minami-1/>

TEL 0857-53-4798

SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

夏休みや冬休みの間、勉強をしに公民館へ子どもたちがやって来るが、ほとんどの時間がただなんとなく遊んでいる状態であったことから、子どもたちの勉強や一緒に遊んだりすることができる若者たち(中学生～大学生)を探していた。

子どもを育むまちづくりを進めている中、当公民館が参画している小学校のCSが先生に行ったアンケートで、「勉強を地域の方に見てもらう機会を作ってもらえないか」などの意見があったことから、若い世代の発想を取り入れた新しいまちづくりを進めていきたいと考えていた。

このため、市の「公民館における若者のまちづくり事業」を活用し、若者の新しい発想を取り入れたまちづくりに取り組むこととした。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【夏休みサマースクール（若者のまちづくり参画）】 上記課題から、夏休みの宿題と併せて体験してもらおうことで子どもたちに創造力・人間力を養ってもらおうと、令和2年度から開校した。学校との連携を考慮して小学校の多目的ホールを利用している。実施にあたっては、方向がぶれないよう基本方針を示し、若者の柔軟で斬新な発想を活かすため、「若者まちづくり事業」に応募した4名の鳥取環境大学生に企画・運営を担ってもらい、公民館は子どもや地域ボランティアの募集などを担当。また、学校・関係者にプレゼンし情報を共有することで、先生による学習のサポートを得ることができた。参加した子どもたちからは、「楽しかった。来年もやってほしい。」と好評であった。令和3年度は大学生を6名に増員し、地域の中・高生10人も加わって協議を重ねながら企画を練ってきたが、直前の新型コロナウイルスの感染拡大によりサマースクールは中止した。しかしながら、楽しみにしていた子どもたちのため、サマースクールの一環として企画していた「夏休み工作教室」、「星を観る会」を単独で実施。「工作教室」は、竹灯籠の材料の調達・準備を地域のボランティアが担当、製作指導には学生が担当し、地域住民と学生が連携した取組を行った。「星を観る会」は、募集チラシの作成を中学生に、天体の映写・観察・機材調達等の運営は星の専門である鳥取環境大学天文部の学生が担当するなど若者同士が連携した取組を行った。

【地域イベント等（取組全体）】 サマースクールを機に、学生とのつながりが強まり、公民館事業(男の料理教室・子どもお菓子教室)や地域のイベント(子ども祭り・文化祭など)においても、若者が講師やスタッフとして積極的に運営に参画している。



サマースクール(アイロンビーズ)



男の料理教室

3. 取組による成果や効果

- 学生の豊かな発想や奇抜なアイデアを取り入れたことで子どもたちにより楽しんでもらえる内容となり、イベントへの子どもたちの参加者が多くなった。
- 学生・地域・保護者・先生との連帯感が生まれ、つながりが強くなった。特に学生とのつながりが強まり、いろいろな面で協力が得られる。⇒ 新しい取組へと展開。
- 地域の中・高生がサマースクールに参画して大人と一緒に子どもをサポートすることが、将来のまちづくりの担い手育成につながる。
- 若者と交流することで、若者の新しい発想・考え方などに地域住民が刺激を受け、地域の魅力の創造や活性化につながっている。



公民館改善に向けた協力

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

サマースクール実施後に、参加した学生やボランティアで反省会を開催し、担当ごとの振り返りや改善点等について意見交換を行い、次回に向けた検証・改善を行っている。それには、令和元年にまちづくり協議会が地域住民を対象に行ったアンケートの中で、「公民館が行っている生涯学習や文化活動・行事について"参加したいものがない"・"関心がない"」との回答が多かったことから、サマースクールに参加した学生と魅力ある公民館事業に向けた意見交換を行い、学生から出た意見・アイデアなどを今後の公民館運営に活かしていくこととしている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

地域住民の方たちが気軽に寄ることができ、公民館を訪れた方たちが「楽しかった」、「また来たい」と思っただけよう"つながり"を大切にする公民館でありたい。そのため、公民館ロビーの一角に教養講座等の作品を展示したり、冷温水が出るウォーターサーバーを設置し、訪れた方たちが冷たいお水や温かいお茶やコーヒーを飲みながらくつろいでいただけるようギャラリーを兼ねた休憩室を整備するなど工夫を凝らしている。



コーヒーを飲みながら談話

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 公民館に求められる講座や学習内容が高度化・多様化している中であって、公民館職員だけでは対応が困難な場合も出ており、今後は、専門的な技術・知識を有した会社やNPO法人等の発想を取り入れるなど、民間企業やNPO法人等との協働による公民館運営にも積極的に取り組んでいきたい。
- サマースクールを「子どもの居場所」として、定期的に開設できるよう検討していきたい。



企業が行うスマホ教室